



お勧め本や季節の掲示物が明るく温かい雰囲気を作っていると褒めていただきました。

統合の前から、保護者も、生徒もお互いの学校を行き来し、会合を持ち、合同で行う行事を設定したことも理解を深め、協力関係を構築できた要因だと思います。また、教職員は19年度から準備室会議を立ち上げ、何度も話し合いを重ね、お互いの良いところを持ち寄って統合校のイメージ、教育理念、具体的な内規を作っていました。思いは一つです。あたりまえのことができる生徒、あたりまえの学校、地域に受け入れられ、応援される学校、すなわち、少しでも地域に貢献できる生徒や学校にしたいということです。25年度、松戸向陽高校が大きくジャンプできるよう、生徒、職員、保護者が一丸となって努力して参ります。

<ホップ・ステップ・ジャンプ>

統合3年目が始まりました。今年度入学生284名を加え、807名の生徒と、職員74名（非常勤講師を含む）で「チーム向陽」を結成しています。皆様のお力添えをいただき、「あたり前の学校」を目指して努力して参ります。



昨年度、大きな事件事故も、進級できない生徒もなく、（正直に申し上げれば、教師が丁寧に指導した結果です。）25年度は統合3年目、順調にいけばジャンプの年を迎えます。ジャンプできるかどうかは、生徒・職員・保護者の意識と努力にかかっています。松戸・市川両市にまたがる地域の皆様のご理解とご支援により、生徒の様子も学校の状況も一歩ずつ前進・向上している実感があります。

<多謝・多謝 皆様のご支援に心から感謝申し上げます>

3月5日に卒業した生徒たちは、それぞれ矢切、秋山の最後の入学生でした。1年目はそれぞれの学校で学び、2年になる時に秋山校舎に移って両校の生徒・職員、転勤してきた職員で統合校「松戸向陽高校」としての教育が始まりました。校舎が変わり、教育環境も変わった矢切入学生の負担は大きかったと思います。また一気に倍近く増えた生徒を受け入れる秋山入学生も、地域の方々も違う状況に戸惑いもあったことと思います。統合前の4クラスの学校が7クラスになり登下校の自転車や徒歩の生徒の多さに、驚かれた方もいらっしゃったと思います。大きなトラブルもなく、同じクラス、同じ部活動で過ごし、初めから一緒に学校で学んでいる仲間のようになるのに、いくらかも時間がかかりませんでした。教育委員会や、中学校の先生方、高校の生徒指導研究部会の方々等の訪問も多く受け入れましたが、「松戸向陽高校」として長く存在していた学校のような安定感と校舎内外の清掃の行きとどいた環境、芸術科の授業の作品の掲示や図書委員会の

松戸市の中学校の校長先生方、部活動を通じて指導して下さった様々な競技の先生方には、本校を支えていただきました。秋山町会の石井会長、前会長のお二方にはいつも気にかけていただき、町会としてカーブミラーや街路灯の設置など安全面のご支援をいただきました。秋山団地自治会長の木村様は、毎日秋山駅の手前の交差点で横断の誘導、声掛けの活動をしてくださって、地域の子どもたちを事故から守っていただきました。また、様々な教育活動で松戸市の事業と連携させていただきました。子育て支援課とは「赤ちゃんとのふれあい体験」「ゲット・ユア・ドリーム」、また消費者教育では松戸市の行政書士会、福祉教育では松戸市社会福祉協議会、高齢者福祉施設、ボランティア活動では各地域からの要請に応じて多くのNPO団体と連携ができました。私たちの学校は県立学校ではありますが、松戸市の支援や恩恵をたくさんいただき、感謝してもしきれないほどです。

地域の中で子どもたちの様子を見ていただくことが大事で、良いところも見ていただき、褒めたり、感謝されたりという経験によって子どもたちは自尊感情を持つことができ、そのことでまた人間的な成長が促進されます。逆に、間違っただけに行いについても、社会の目や地域のご意見が必要で、子育てが十分できないご家庭であっても周囲の協力で厳しく、温かく支えることも可能になります。今後ともどうぞ、本校の生徒、教育活動にご理解とご支援、できれば厳しい御意見をいただきますようお願い申し上げます。

*写真は下校風景・教室掲示・図書館掲示です。本校ホームページをご覧ください。



平成25年度のテーマ 「あたりまえのことがあたりまえに行われる学校づくり」

平成25年度の重点目標

「挨拶ができる・時間を守る・身だしなみを整える」(生徒)

- ・ 生徒も職員も保護者も、気持ち良い挨拶が交わせるように心を拓こう
- ・ 社会人の基本である「時間を守る」を徹底しよう(授業・提出物等の期限厳守)
- ・ 「チーム向陽」のユニフォームである「制服」とふさわしい「頭髪」、身だしなみ

「本校の使命を理解し、組織で協働し誠実に実行する」(職員)

- ・ 部、学年、教科がそれぞれ組織として確立し、機能することを目指す
- ・ 報告、連絡、相談が適切に行われ、必要な情報を共有し組織的に教育活動を行う

学校運営上のポイント

1 安心・安全な学校(物理的・心理的な安心・安全な環境整備)

施設・設備の点検、生徒・職員の健康・事件事故の防止・適切な対応、いじめ・暴力・体罰・セクハラを見逃さない
相談・面談による生徒理解、協働関係

2 生徒指導の充実(気にかける・声をかける・手間をかける)

挨拶・時間・身だしなみ・清掃の徹底、ルールを守るからマナーの向上へ

3 実態に即した基礎基本の学力の定着と向上(学力把握と到達目標の設定、指導)

新学習指導要領に基づく、指導内容、評価等を各教科で検討し、反映させる
授業秩序の確立 授業のルール(チャイム着席、起立・礼、態度)の徹底
学習の基本の徹底(ノート、提出物は必ず出させる・集める、発表)
成績不振者の意識改善、学力上位者へのフォロー対策
教科、学年連携の授業観察や授業研究等チームを組んで生徒の実態把握と改善
若手教員の育成と支援

4 組織的・計画的な進路指導(見える進路・あきらめない進路、キャリア教育の推進)

入学時から、全ての場面、全ての活動が進路に繋がる指導であることを意識し
生徒に「生き方」を意識させ、保護者への啓発、職員相互の協働関係を築こう

5 保護者・地域との相互協力による教育力の向上

地域への学校施設の開放、開放講座、公開授業や学校評価アンケートへの協力
地域の中・小学校との連携による授業公開、授業研究
保護者の活動の活性化、学校教育への参画を促す

6 入学志願者の確保

中学校訪問(入学した生徒の情報交換、学校説明)、出前講座、進路説明会
中学生・保護者の見学、本校主催説明会への参加を促す

7 普通科福祉コースと福祉教育拠点校としての役割

福祉コースの開設(25年度生3年次)と介護職員初任者研修の実施に向けた年次計画及び拠点校としての役割の実行

* 危機管理意識を持ち、不祥事を起こさない、起こさせない、厳しく温かい職場環境

入学した生徒を、少しでも向上させて卒業させることが信頼に応えること